

# りゅうおう 議会だより

No.153  
2010.11.1

RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713 (直通) (傳)58-3713



「おいも み〜つけたっ!」

平成21年度決算 **財政健全化 さらに!** .....2~3

指定地域への進出企業に **税免除** (新規条例) .....4~5

**一般質問** 7議員16問 .....6~11

**シリーズ いきいき人生** .....12

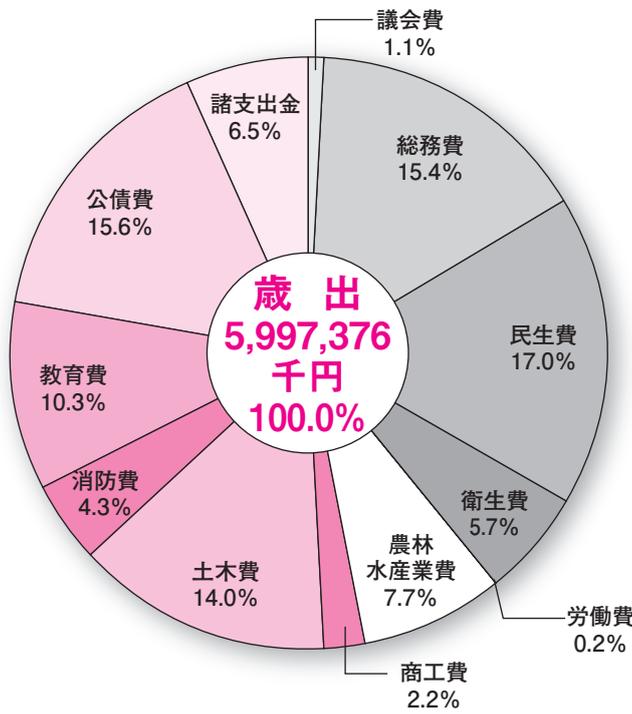
# 認

# 定

# 可決

## 町税前年度より 3億5969万円の減

### 歳出総額 59億9737万円



## 財政の健全化へさらに努力を!!

平成22年9月定例会は、条例改正2件、条例制定1件、平成22年度一般・特別会計補正予算6件、平成21年度一般・特別会計歳入歳出決算認定9件、広域的水道計画の改定1件、財政健全化判断比率・資金不足比率の報告2件、人事案件4件を原案どおり「可決、認定、同意」しました。

また、「緊急的な米需給調整対策に関する意見書」、「野生鳥獣対策の充実・強化を求める意見書」2件を、全会一致で国会および政府に提出することになりました。

平成22年 第3回定例会

当町の財政状況は、財政健全化判断比率(四つの指標)において実質公債費比率20・1%と高くなっており、町税収入の大幅な

減と相まって財政運営の硬化化が顕著となってきました。財政の健全化について議会としても監視・提案をまいります。

### 平成21年度決算審査の主な質疑

- 問** 町税の収入未済額が年々増えている。税徴収の対策は。
- 答** 4月より徴収対策会議を開き、現年度徴収に力点をおいて収納に努力しています。
- 問** また、内部研修も含め職員のスキルアップに努めています。
- 答** 10月から栗東市との共同徴収チームが配置されるので、併せて組織を構築したいと思っています。
- 問** 喜楽鉱業の焼却炉が運転中に、炉の圧力が上がり、炉の安全のためのハッチが開いた事態となったことが後でわかった。関係機関や地元へ届出る義務はないのか。
- 答** 法定機関への届出義務はありませんが、公害防止協定に盛り込まれており、さらに指導を強化していきます。
- 問** 企業誘致特別措置に関する条例で、奨励金交付対象事業者が国の地方税法の改正が見込まれ、奨励金交付期間の10年間で続かないのがわかっていながら、平成21年度に6千500万円支出したのは間違いないか。
- 答** 地方税法の改正に関する閣議決定は、今年の2月1日にされ、法施行日は4月1日でした。奨励金交付申請が2回行われ、それぞれ6月、7月に支払っており、適正な処理です。

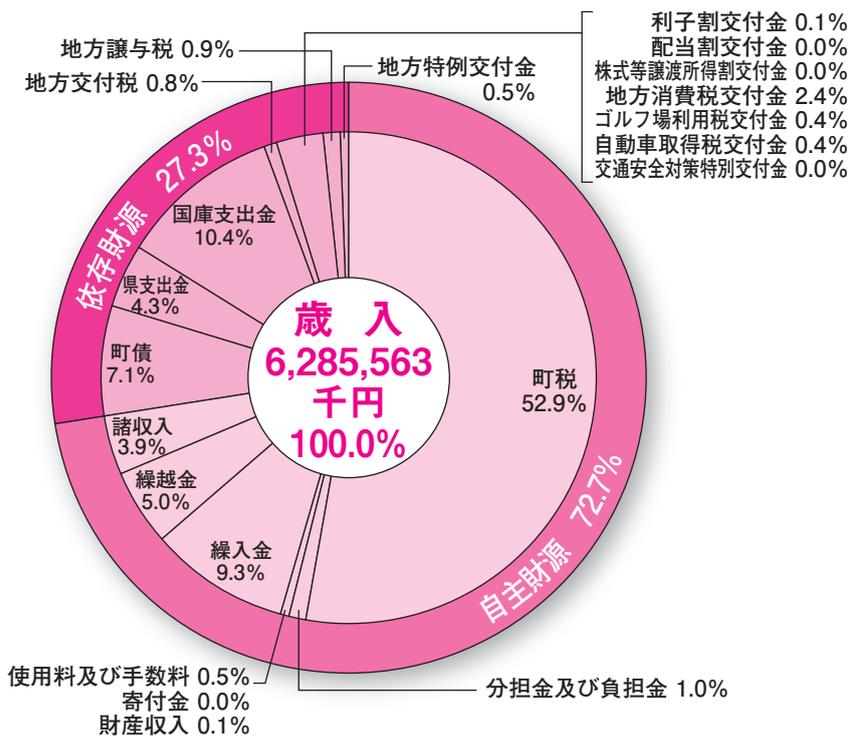
平成21年度

# 決算を

## 一般会計 歳入総額 62億8556万円



やまびこを訪ねました



### 決算に関する意見

●平成21年度末の町税の収入未済額は、合計で1億1863万9千円となっており、前年度に比較して2109万7千円と大幅に増加している。

●納税者の事情を考慮しつつも、徴収は厳しく、手順はスムーズにしかもノウハウを蓄積し、組織を見直すなど限りを尽くして財政の健全化に向

●道駅の運営は順調で、利益も多く出ているので、指定管理料を減額するなどして、その分を他に回されたい。

●歳出では不用額が多いところがある。

●効率的な財政運営に努めるとともに、厳正な処理を行うこと。

### 平成21年度特別会計の決算

	歳入	歳出	差引	
国民健康保険(事業勘定)	10億2,976万円	10億213万円	2,763万円	
国民健康保険(施設勘定)	医科	1億172万円	9,257万円	915万円
	歯科	5,617万円	5,103万円	514万円
老人保健医療事業	1,243万円	989万円	254万円	
学校給食事業	6,459万円	6,398万円	61万円	
下水道事業	7億8,588万円	7億6,180万円	2,408万円	
介護保険	5億6,591万円	5億3,529万円	3,062万円	
後期高齢者医療	6,879万円	6,854万円	25万円	

水道事業			
収益的収入及び支出	3億1,567万円	2億8,865万円	2,702万円

◆ 当年度純利益(消費税抜き) 1,393万円

資本的収入及び支出	3億8,070万円	4億865万円*	-2,795万円
-----------	-----------	----------	----------

\* 不足する額 2,795万円は、当年度損益勘定留保資金で補てん

企業立地促進のため：  
固定資産税を免除します

①企業立地促進法と②農工法の適用を受ける固定資産について課税を免除することにより、より一層竜王町での事業展開を考えるきっかけとなり、それにより、企業が進出すれば、自動車関連産業の集積や活性化、雇用の拡大と、ひいては町経済の活性化、雇用の拡大につながるの思いから条例制定がされたものです。

その内容は固定資産税の課税を3年間免除するといふものです。

正式名称は、「竜王町企業立地促進のための固定資産税の特例に関する条例」

免除の対象となるのは①では企業立地促進法に規定する竜王町の基本計画に定められている集積区域、具体的にはインター周辺地区とダイハツ工業滋賀工場を中心とする地区。と②農工法の適用を受ける山面地区で事業を展開する事業者。その他対象事業者、対象業種などの規定があります。免除されるのは事業用の機械、装置、建物、土地に対する固定資産税で免除されるのは3年です。

この条例の期限は①については平成25年度末②については平成24年度末です。

竜王町税条例の一部が改正されます

給与所得者や公的年金等受給者について扶養情報にかかる情報収集の規定を定めるもの。

タバコ税の税率引き上げに伴うもの。

小額の上場株式等について、配当所得および譲渡所得等の非課税措置を導入するためのもの。

以上3点について町税条例の改正がされます。

非自発的失業者の国保税の課税特例

「竜王町健康保険条例の一部改正」により国保の世帯主またはその世帯に属する国保の被保険者もしくは特定同一世帯所属者が特例対象被保険者（非自発的失業者）となった場合は、なった日の属する月から、月割りをもって当該納税義務者の国民健康保険税の額から減額されます。

平成22年度 補正予算(第2号)の概要

歳入予算の内容	(単位：千円)
地域介護・福祉空間整備事業交付金	4,131
近江の園芸特産振興対策事業補助金	3,333
経営体育成条件整備事業補助金	7,267
しがの水田野菜生産拡大事業補助金	1,500
緊急雇用創出特別推進事業補助金	1,046
公用自動車損害共済金	1,124
前年度繰越金	30,675
歳出予算の内容	(単位：千円)
地方税電子申告国税連携対応業務委託料	2,404
高齢者福祉施設等整備事業補助金	4,131
日本脳炎予防接種委託料	3,500
近江の園芸特産振興対策事業補助金	4,333
経営体育成条件整備事業補助金	7,267
しがの水田野菜生産拡大事業補助金	1,500
県単独土木建設事業負担金	2,140
下水道特別会計繰出金	△12,839
学校管理運営費	2,464
中学校施設整備事業	2,888
人件費補正	23,279



議員研修会を開きました

固定資産評価委員会委員を選任しました

西村悦男氏  
(鶴川在住)  
村地半治郎氏  
(西川在住)

監査委員選任同意しました

吉田定男氏  
(鏡在住)

人権擁護委員の候補者を推薦しました

守快信氏  
(川守在住)

## 委員会

主に、低コスト・省力化技術の導入、栽培施設（ビニールハウス等）の整備に使われるものです。

「しがの水田野菜生産拡大推進事業補助金」は、水田の利活用と野菜の自給率の向上をはかるため、野菜を滋賀県の水田農業における戦略作物として位置付

## 農業の活性化に補助金交付

園芸の特産振興と水田野菜生産の拡大推進事業に取組まれる方々への支援として滋賀県と一部竜王町からも事業費補助がされることになりました。

「近江の園芸特産振興対策事業費補助金」は、県民の求める新鮮な地場産の野菜、果実、花など園芸品目の安定供給を促進するため、生産・流通を進め消費者の信頼に込められる安全・安心かつ高付加価値・高品質な園芸特産産地の振興を図るための事業に要する経費に対し補助金を交付するものです。

け、その生産拡大の取組に要する経費に対する補助金です。

事業実施主体は集落農業組合、野菜販売農家、農業者の組織するグループで、交付単価は10アール当たり1万円以内で要件等を満たす生産を行うことが必要です。

## 平成21年度決算に係る財政健全化判断比率と資金不足率

健全化判断比率	平成21年度実績	早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	-(-6.52%)	15.0%	20.0%
② 連結実質赤字比率	-(-13.21%)	20.0%	40.0%
③ 実質公債費比率	20.1%	25.0%	35.0%
④ 将来負担比率	130.7%	350.0%	

比率名	平成21年度実績	経営健全化基準
水道事業会計資金不足比率	-(-66.1%)	20.0%
下水道事業会計資金不足比率	-(-8.5%)	20.0%

昨年公布された「地方公共団体の健全化に関する法律」に基づいて、竜王町の財政健全化判断比率と資金不足比率が算定され、定例議会で報告されました。財政健全化判断比率というものは町の財政の健全性を示す指標で、4つの比率が算定されます。

4つの指標とは実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率で、竜王町の平成21年度の各比率は上記記載の通りです。

町の財政は「財政再生基準」と「早期健全化基準」のどちらかに該当すればかなり厳しいと判断されます。竜王町の場合、4つの比率はどれも基準を下回っています。

また、資金不足比率は、水道事業会計の経営の健全化を示すもので、経営健全化基準の20%を大きく下回っています。「極めて良好な状態監査委員の意見」であると言えます。



「雪国まいたけの既存工場」

## 「まいたけ」子会社 12月に操業予定

9月22日の地域創生まちづくり委員会で、「雪国まいたけ」の子会社が山面地先でカット野菜の生産工場を建設し、12月から操業を開始すると説明されました。

説明によると9月10日に本社と子会社の担当者が来町され、「カット野菜の工場を建設することになったので協力いただきたい」との要請があったとのこと。

工場の概要は左記のとおりです。

### 工場の概要

- ・建物 既存建物活用 (1,500㎡)
- ・新規雇用 30～40名を予定
- ・稼働 一日15時間2交代制
- ・今回の投資額 7億円以上

「雪国まいたけ」の工場用地は全部で18ヘクタールです。

雪国まいたけと町が取り交している工場建設に関する覚書の規定では雪国まいたけの用地全体についての計画が本年末には提出されなければならぬことになっています。

どのような計画が出されるのか、期待が寄せられています。

また雪国まいたけでは10月18日付の新聞折り込みで、

求人広告を出されました。募集は管理職候補や総務事務などの正社員と製造スタッフの契約社員・パートなど約40人。操業は12月から1月にかけて開始されます。10月22日と23日に面接が実施されました。

町内雇用が広がるよう議会からも求めています。

# ここが聞きたい!!



「田んぼのオーナー」みんなで稲刈りをしました

- ①公共建物・道路の補修予算の確保を
- ②町の幼稚園教育は
- ③インター周辺開発・人口増対策
- ④直轄所管化を
- ⑤中小企業振興条例の制定を
- ⑥若者の定住促進を
- ⑦交番の設置を

- 蔵口嘉寿男議員
- 山添 勝之議員
- 貴多 正幸議員
- 小森 重剛議員
- 若井 敏子議員
- 山田 義明議員
- 岡山 富男議員

**答** 昨年度からの急速な景気の落ち込みにより、財政運営全般に影響を及ぼすこととなり、施設修繕計画を含め建設計画での事業実施年度を見直しました。

道路舗装補修と維持管理については小額ですが毎年当初予算に計上し、施設の応急的に維持管理に努めて

**問** 妹背の里、学校体育館の屋根の補修や道路の補修・維持管理が遅れている。公共建物の年次のな補修計画はあるのか。

道路の舗装補修や維持管理は町民生活に直結する緊急性があり、当初予算で確保すべきだと考えるが所見を伺う。



**答** 公共建物・道路の補修予算確保を  
財源の確保に努めます  
蔵口 嘉寿男議員

います。

施設の補修については、施設によって特殊な構造などにより、多額の修繕費を要することが想定されます。今後は修繕等に要する経費の予算化がその時の景気動向に左右されないように、



妹背の館

計画的な財源確保をしてまいります。

そのために改修を目的とした基金を設置し、施設の改修や突発的に発生する改修経費に充当するなどの手法を検討します。

一般質問



町の幼稚園教育は  
 幼保連携しています

山添 勝之 議員

問

町内の幼稚園と保育園には「小一ギヤップ」と称する問題が懸念される。幼稚園と保育園の連携が重要だと思いが当局の所見を伺う。

また竜王ならではの教育、保育は他市町に住んでいる人が、竜王に住みたいと思える誘導策ともなる。そのような施策はあるのか伺う。

答

幼稚園はすべて文科省が公示する「幼稚園教育要領」に基づいて実施しています。そこには「義務教育やその後の教育の基礎を培い、幼児の健やかな成長のために適切な環境を与え、心身の発達を助長すること」と示

されています。

保育園については厚労省の告示する「保育所保育指針」により、「健全な心身の発達を図ること」を目的として保育をされています。幼稚園、保育園ともに「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の五つの領域から構成されていて、幼稚園教諭、保育士の指導内容に違いはありません。

昨年行った幼稚園と小学校の連携の取り組み、都市部の市町には出来にくいきめ細かい連携が竜王町では出来

ています。

今後、小学校教育への円滑な接続を視野にいたれた幼稚園と保育園の交流をより一層深め実施していきます。



ひまわり保育園の組体操



インター周辺開発・  
 人口増対策  
 一体的総合的に取り組みます

貴多 正幸 議員

問

三井アウトレットパーク滋賀 竜王がランドオープンし、全国的に注目されているこの時期に、竜王インター周辺の開発や、人口増に向けた取り組みをする必要があると考えますが、所見を伺う。

答

竜王インター周辺の開発については、インターに近いという交通の利便性を活かすことと公共性のある施設であることを基本に可能性を探っております。一例としてアウトレットへの観光客と工業地帯への物流車両へのサービス提供に配慮した機能・施設の整備や、広域をカバーする高度な医療施設あるいは竜



国道477とアウトレットモール付近

王町の農業や自動車産業の集積を活かした専門的な学校の誘致などが考えられるのではと思っております。

また、人口増に向けた取り組みについては、住宅施策に繋がる土地利用の方針や受け皿となる土地整備など基盤の整備とともに、利

便性の向上、子育て環境の充実など、まちの魅力を高める方策を行政が主体的に取り組むことが大事で、自治会や企業との協力、連携による一体的、総合的な取り組みが必要であると考えています。



直轄所管化を

社協への支援、連携を強めます

小森 重剛 議員

問

現在、民生委員児童委員協議会の所管は町社会福祉協議会に移管されているが、直轄所管に戻すことにより、個人情報を知り得る立場の行政、地域情報を知る自治会、独自情報を持つ民生委員の連携強化が図れるものと考え

答

民生委員児童委員の活動を支援する所管は福祉課です。委員皆様の活動の課題や

情報交換、情報の共有化はもとより、行政で知り得なかつた情報が得られる機会が増え、地域福祉の活性化に大きく貢献できるものと思うが、所見を伺う。



民生委員さんによるもちつき

問題、悩み等については、気軽に相談していただけるよう福祉課を窓口として、行政各担当との情報共有や連携を強め、課題解決に繋げていきます。

民生児童委員協議会での活動については、社会福祉協議会が事務局を所管することにより、住民の立場で住民の暮らしの相談や支援を行う「民生委員児童委員」と、地域福祉の拠点となるべき「社会福祉協議会」が一体的に地域づくりを推進することで、「ともに支え合う地域福祉社会」の実現が図られると考えます。

そのために町として、社会福祉協議会事務局への支援、連携を強めることが必要だと考えています。

問

町は町内企業の町税収入の落ち込みをどう掌握しているのか。

産業振興条例はもっと具体的に実効性があり、関係者の知恵を集めたものに改正すべきではないか。

アウトレットができ、平和堂が進出すれば既存の町内企業はどうなってしまうのか。この時代だからこそ地域づくり町づくりと中小企業の活性化を一体的にとらえ、相乗効果を生み出されるような施策を町が主体的に取り組まなければならぬと考えます。

全国では企業家も研究者・金融機関も加わって議論を積み重ねて中小企



中小企業振興条例の制定を

他市町を参考に検討します

若井 敏子 議員

業振興条例をつくっている。竜王町では企業と町との協定はあるが、まちづくりに繋がるような条例を作るべきと考えるが所見を伺う。

答

平成20年度と21年度の比較で、法人税の落ち込みは3億5千万円です。そのうち中



住宅リフォーム中の町内業者 今日には竜中生が職業体験で応援に来ました 住宅改造をする大工さんと職業体験の竜中生

小企業分については2300万円の不況の影響と捉えています。

行政が中小企業の振興を目的に「中小企業振興基本条例」を制定する動きが全国的に広がっています。本町でも雇用の確保・拡大、所得の向上など町民生活向上のため、他市町を参考に条例制定を検討します。

## 一般質問



### 若者の定住促進を

魅力あるソフト面も重視します

山田 義明 議員

#### 問

町の将来人口は目標を下回っている。人口減少をくい止めるため、町民意識調査を実施したが、その結果を伺う。

若者定住について、今までの取組と今後の重点施策を伺う。

と考えています。

平成19年に「童王町都市計画マスタープラン」を作成し、平成20年には「童王町市街化調整区域における地区計画制度の運用基準」を策定しました。

健康診断」などをきっかけに、若者の視点に立ちニーズを踏まえて、改めて集落周辺土地での住宅用地のあり方を議論していただけるよう支援します。

#### 答

意識調査で、竜王町は住みよいかとの質問に、働く世代は「住みよい」と答えた比率が低く、就労面からの課題については、「多業種にわたる就労場の確保」や「通勤のための交通手段」、「子育て環境」などの要望がありました。

これらの課題や要望に対応することが子供を生み育てる世代の定住促進に繋がります。

この地区計画で新規住宅団地や生活利便施設の誘導を図ってきましたが、制度の活用に至っていません。

今後、制度の周知や、体制整備を進めると共に第五次総合計画に位置づけすることが必要と考えています。



田中から役場を臨む

本町では大型商業施設がオープンし、連日県内外から多くの来場者で賑わっている反面あらたな事件・事故が発生しています。

本町の8月末の犯罪認知件数は83件で、前年より22件の増です。

アウトレットパークではプレオープンが7月7日と7月18日に住民生活に支障となる渋滞が発生し、駐車場内では開業から8月末日までの間に38件の物損事故

#### 問

7月にアウトレットパークが開業して以来、犯罪や交通事故が増えていると聞いている。今の駐在所を交番に格上げしてほしいという声があるがどうか。

#### 答

8月3日には交番設置要望書に各自治会長様の署名をもらって近江八幡警察署長に、さらに9月17日には滋賀県警察本部長に要望活動を行いました。

町として何にも代えがたい地域住民の安全・安心を何よりも重視すべきとの熱い思いで、交



### 交番の設置を

要望・要請をつづけたい

岡山 富男 議員

が発生しています。

童王町にとっては24時間地域住民の要請に対応いただける体制整備「交番」設置が願いである」と要望を継続してきました。

番所実現までさらに要望・要請活動を継続してまいります。



竜王 駐在所 (綾戸)

その他質問

こんな質問もしました

山添勝之議員

**問** 希望が丘団地（大丸企業）の皆さんは下水道整備を待ち望んでいる。町の計画を再度伺う。

**答** 当初開発した企業は倒産し、その後清算人となった企業も解散して団地内道路の工事許可などがもらえず大変苦慮しています。今後は顧問弁護士などと協議し、対応します。



旧大丸企業団地の道路

**問**

町長は当初民間の手法で財政再建をすると表明されていたが、私は経済発展なくして財政再建なしと考える。所見を伺う。

**答**

税収の伸びが期待できないので歳出を見直さざるを得ないと、今年度は皆さんにご辛抱をいただく削減予算となりましたが、その効果は今年度末に必ず出てきます。まずはスリムな体質、その後は増収に向かい、その増収分が財政健全化への資金となると考えています。

小森重剛議員

**問**

全町圃場整備事業で築造された老朽施設の維持管理および保全修理を、今後どのような方法で取組んで行こうとしているのか伺う。

**答**

農業施設は、農業生産を支える重要な基盤であることは元より、地域の環境保全等の多面的機能を持つ施設でもあり、良好に維持管理できる体制整備が必要であると考えます。

若井敏子議員

**問**

町職員で非正規職員の実態を伺う。正規職員との差をなくし、待遇改善を図るべきではないか。

**答**

非正規職員は計65人で常勤的勤務は30人。臨時職員の処遇は総務省からの通知で対応をしています。

**問**

地デジ化での課題はないか。相談窓口はどこか。生活保護世帯や受信料免除者への対応は進んでいるのか。地デジ化対応の資金貸付制度はあるか。

**答**

町の窓口は政策推進課。相談は2件で、地デジコールセンターに照会しています。生活保護世帯に対するチューナーの無償給付は申し込み361件の設置済みが19件。一般の受信者に対する貸付制度はありません。今後も地デジ支援の啓発をすすめていきます。

**問**

過日の①要望書（町長宛無記名）に対する回答と、②住民からの要望などをどのように取り扱うかについて伺う。

**答**

①要望に対する回答  
②山田川沿いの自転車道

子宮ガン検診 受診率	
H19年度	25.1%
H20年度	25.1%
H21年度	31.6%
(県平均は15.3%)	

**答**

公費助成については、国が来年度の子算要求をしていますので、県内の状況もふまえて検討します。子宮ガン検診の受診率は増えています。

**問**

日本では年間3500人の女性が子宮頸がんを命を落としていて、ワクチン接種に公費助成する自治体が増えている。竜王町でも、公費助成と検診の充実を求める。

①新山面橋の自転車道は基礎を埋設し修繕します。②須恵西交差点の歩道橋は県に要望しているが、再度要望します。③物四郎川沿いの道路、草や木の処分は実施しました。念仏橋からのバイコロージは右岸を利用してください。④要望書は匿名でしたが関係課に届けました。住民要望は相手がわかれば返信しています。町長への電話や面談についても内容を聞き、町長に繋いでいます。住民皆さまにとって顔が見える、身近な行政として職員はしっかり対応することが竜王町らしさだと考えています。

## その他質問

岡山富男議員

### 問

町の総合計画では人口1万5千人を目指しているが、現在1万3千人。アパートやマンション建設の計画があるのか伺う。

### 答

竜王町は、町域の大部分が市街化調整区域で、住宅建設は制限されています。

町としては、松陽台のI B Mグラウンド跡地に住宅開発が出来るように取組んでまいりましたが、今後はこの地区計画制度を活用して行きたいと考えています。アパート・マンションの建築計画はありません。

### 問

最近高校でも発達障がいの子ども支援が始まったと聞かれました。成人に近づく二次障がい問題や、進学、就労についても支援が必要になる。町としての取り組みを伺う。

### 答

日野高校では特別支援教育に力を入れておられます。

発達障がいは、二次的な要因があり、その結果として、不登校や反社会的行動等の学校不適應等に陥るものと捉えています。

今後組織の充実を図り、併せて専門職等を配置することにより、青年期までの一貫した支援ができるものと考えております。

### 広報特別委員会から質問に対する

### 答弁について

議会だよりでは議員の質問に答えているのが誰なのかは記載していません。

それは課長でも主監でも町長でも、誰が答えているのも町としての回答であるとの認識からです。

実際、議員の質問にどう答えるかについては主監課長会議で協議され決定されています。

平成20年度における野生鳥獣による農作物への被害は、滋賀県内で約1億7千万円、全国では約198億円に上っており、経済的な損失にとどまらず、農家の生産意欲を著しく減退させ、深刻な事態となっている。

### 野生鳥獣対策の充実・強化を求める意見書

とともに、安心して農林業等が継続できる環境整備は極めて重要であり、このためにも、引き続き、国・都道府県・市町村が一丸となって実効ある野生鳥獣対策を講じる必要がある。

ついては、国において、「鳥獣被害防止総合対策交付金」について、必要な予算の増額措置を速やかに講じるとともに、来年度以降の継続実施をはじめとして、野生鳥獣対策の一層の充実・強化を図られるよう、強く要望する。

### 提出先

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
農林水産大臣

平成20年度より減少し、前年度より減少し、全国で、交付内示額と要望額に大きく隔たりが生じる状況となっている。

食料や木材の供給に加え、水源のかん養や環境保全等の公益的機能を有する中山間地域の維持・振興を図る

平成21年産米は、政府の需給見通しを上回る米消費の減少や20年産米の大量持ち越しに伴う契約・販売進捗の大幅な遅れなどから、価格が下落し、30万トン以上が古米として持ち越される見通しで、22年産米の需給と価格への影響が懸念される。さらに、22年産米は、過剰作付けや、豊作基調での推移などから、過剰米の発生が懸念されており、米の消費減や21年産米の持ち越し在庫などと合わせ、60〜80万トンものギャップが生じかねない状況で、この危機的な状況を改善し、生産者が安心して経営ができるよう次の事項について適切な措置を講じるよう要望する。

### 緊急的な米需給調整対策に関する意見書

め、現下の過剰米を主食用市場から隔離することを柱とする政府による緊急的な需給調整対策を早期に決定し、市場に広報すること。

三、政府棚上げ備蓄（主食用米の買入および非主食用処理）は、現下の需給ギャップ量を踏まえ、22年産米から前倒しし、早期に実施すること。

四、水田を最大限に活用し、わが国の主食である米の安定供給と、加工用米、飼料米等の振興により、食糧増産と自給率向上をはかるため、主食用米については、需給に即した計画生産が必要であり、政府が定める生産数量目標を適切に管理する為の出口対策を含め、整合性のとれた政策体系を確立すること。

### 提出先

衆議院議長  
参議院議長  
内閣総理大臣  
財務大臣  
農林水産大臣

## 篠原駅

### 平成26年完成予定

篠原駅周辺都市基盤整備事業（篠原駅の駅舎改築とアクセス道路の整備）の進捗について議会に報告がありました。

それによりますと

①総事業費の見直しがされています。当初の予定では40億以上かかると見込まれていましたけれども財政事情が厳しいことから駅舎の構造を変更する（具体的には改札口を橋上の中心ではなく、北口の上に設置することで工事費用を少なくすることや、当初計画にあった変電所の移設を取りやめるなどで28億程度におさめるような計画変更がされています。

②竜王町からのアクセス道路は近江八幡市安養寺町と野洲市入町の境界線あたりに作る計画が検討されています。

③工事は平成24年度の



木ノ本駅  
篠原駅的设计にはこの駅が参考にされました。

アクセス道路整備から着手され、完成は平成26年度末予定です。

篠原駅の改築については篠原駅周辺都市基盤整備推進協議会（近江八幡市・野洲市・竜王町）で協議がされています。竜王町議会からは寺島健一議長と岡山富男議員が協議会の委員となっています。

## シリーズ いきいき人生

橋本在住 大崎 五男さん



大崎さんは55歳で定年退職され、営農大学で一年農業全般について学び、卒業後はトマトの栽培を始められました。

「同じように育てているつもりでも、トマトの木は一本一本成長が違う。どうしたらおいしいトマトが出来るのか、花が咲かない、病気かな、虫がついたのかな。一つ一つのトマトを見つめながら考えています」と苦労話も聞かせてもらいました。今年には天候が不順で悩んだと言います。習ったとおりには行かない、だからこそやりがいがあるとのこと。

それでも「あんたのトマトおいしかったわ」と言ってもらえるのがうれしくて、うれしくて、

もつとおいしいトマトを作ろうと思うのだそうです。採算なんか考えてない、考えていたらやっけないのです。

トマトの話をしている大崎さんのまなざしはとても優しい。大崎さんだからこそ甘くおいしいトマトが出来るのでしょうか。

大崎さんに、議会や町への意見や要望があればお聞かせ下さいというところ、

県から、補助金が出るのなら町も出そうというのではなくて町として主体的に事業計画をし、指導や援助をしていただきたい。町はもつと現場を見てほしい。栽培の支援も販路の拡大もお願いしたい。行政はもつと身近であってほしい……

大崎さんの優しさと厳しい意見に出会ったひとときでした。

## 編集後記

9月19日に、議会広報の研修会がありました。県下の町議会で広報を発行している5町の議会広報委員が一堂に集まって、午前中は講師のお話を聞き、研修を受け、午後からそれぞれの町の広報誌をクリニック（診断）してもらいました。

その結果竜王町の広報誌については概ね良くできていると講評された後で、個々具体的な指摘を受けました。

文章を書くことも写真を撮ることも、簡単ではありません。町民皆さんに議会の活動をしっかりお伝えするために一層努力しようとお報委員会のメンバーで話し合いました。今後とも叱咤激励よろしくお願ひします。

### 議会広報特別委員会

委員長 若井 敏子  
副委員長 山田 義明  
蔵口嘉壽男  
村田 通男  
菱田 三男  
寺島 健一

# 竜王町議会広報

発行・竜王町議会  
編集・議会広報特別委員会

〒520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町小口3  
☎(0748)58-3713